

和歌山病院での実習を終えて



成山 晃弘

今回、呼吸器内科のポリクリで和歌山病院に2日間お世話になった。前日、電車に乗っているとき、着いた瞬間、正直この実習で得られるものはないと思い込んでいた。ただただお泊りを楽しもうと考えていた。

しかし、まず駿田先生のセミナーで、結核について、結核の基礎の基礎について学んだのだが、すでに来たかがあると思えるほどしっかり教えていただいた。しっかり理解できた。だが、それにもまして、僕の中で一番記憶に残り、今後医師になって何年働いても、一生残るであろうと思えたことがある。それが南方先生のセミナーだ。正直今まで、レントゲンの読影をしっかり勉強したこともなく、なんだかんだいけると考えてここまで来てしまっていた。暗記すらしていなかった。だが今回のセミナーで僕は変わった。2日しかなかったが、得られるものがかなり大きかった。内容をここに書くことはしないが、本当に感謝している。それと、1日目の夜に南方先生に連れて行っていただいた焼き鳥屋もよかった。その場で会話したことも、教養が深まった。南方先生に教えていただいた海も大迫力で楽しかった。

いろんなことが密に詰まった2日間であったが、この得たモノたちを手にして、「いい医者」になろうと思う。感謝。